

技術者支援講座「エルリ塾 Part 4」へのご参加案内

「エルリ塾」資格取得にも役立つ『旬なキーワード』を学ぶ (CPD 付与)

(一社)地域国土強靱化研究所(LRRI)が、本年 2026 年 4 月から開講する「技術者資格取得を支援する講座」をご案内します。

本講座は、2021 年度に「グランパカズ[※]塾」として始まりました。

(※ グランパカズ [かず爺さん] は、安原一哉 LRRI 代表理事の名を冠して命名)

Part 2 から名称を「エルリ塾」に変更しましたが、「少人数の受講者に対する懇切な指導・支援」の精神を大切に、その継続・発展形として、2022 年度に「エルリ塾 Part2」、2023 年度に「エルリ塾 Part3」を開催してきました。

今回の講座の特徴は、**第一に「多彩なプログラム (次の①～④)」**

①オンラインによる安原塾長を始め一流講師による**講義**、

②論述問題を WEB 出題して、参加者がメール回答する**通信教育・論述文添削**

(講師が添削・コメントを附して返送)、

③論述問題の回答者自身が WEB で**プレゼンテーション**、さらに

④希望者に**模擬面接** [資格試験の最近の合格者による体験談、質疑応答も予定]

を通じて、最新の技術課題を理解して、「技術士二次試験」への受験準備を支援いたします。

第二は、「2つの『双方向性』の体現」です。まず、自己研鑽と資格取得の『双方向性』です。つまり、新しい技術の自己研鑽が資格取得準備になり資格獲得に繋がります。資格取得を目指すことが、結局、自己研鑽、技術力向上に直結します。もう1つの『双方向性』は、受講者と講師の間の密なコミュニケーションです。

①上記の**講義**中、及び、終了後も講義内容に関する質疑応答ができます。

②WEB を通じた通信教育では、受講者の「知識や考え方」を論述回答で講師に伝え、これに応じて講師から受講者へ「技術的助言」する濃密なコミュニケーションが実現します。

この2つの特徴により、本講座では受講者と講師が多面的に交流でき、自己研鑽や資格取得だけでなく、日々の業務にも充実感が得られます。



<相互啓発・相互交流>

◆プログラム

No.	日程	テーマ	担当者①	担当者②	事務局
1	2026年4月15日(水) 【講座①】 15:30~17:20	講座全体の狙いと内容紹介(20分)	安原 1		足立 1
		キーワード【1】(防災・減災・国土強靱化) ・テーマ1: 国の政策を知る、考える —第1次国土強靱化実施中期計画を概観— ・テーマ2: 流域治水への展開とその理念 (説明(各40分)、質疑(各5分))	常田 1	末次 1	
1a	2026年4月16日(木) 【論述問題①】	キーワード【1】に関する出題・(添削)	常田 2	末次 2	足立 2
2	2026年5月13日(水) 【講座②】 15:30~17:30	キーワード【1】のプレゼンテーション (10分/人×2名=20分)	末次 3	常田 3	伴 2
		キーワード【1】の解説(10分)	末次 4	常田 4	
		キーワード【2】(インフラ維持管理) ・テーマ1: インフラの現状と課題 助田 ・テーマ2: インフラ分野のDX (新技術の活用) (説明(各40分)、質疑(各5分))	助田 1	丸山 1	
2a	2026年5月14日(木) 【論述問題②】	キーワード【2】に関する出題・(添削)	助田 2	丸山 2	伴 2
3	2026年6月10日(水) 【講座③】 15:30~17:30	キーワード【2】のプレゼンテーション (10分/人×2名=20分)	助田 3	丸山 3	足立 3
		キーワード【2】の解説(10分)	助田 4	丸山 4	
		キーワード【3】(SDGs・/グリーンインフラ/森林管理) ・テーマ1: 仮) SDGsと建設産業 ・テーマ2: 仮) 斜面崩壊リスク低減に向けた植生管理とは:NbSによるアプローチ (説明(各40分)、質疑(各5分))	安原 2	浅田 1	
3a	2026年6月11日(木) 【論述問題③】	キーワード【3】に関する出題・(添削)	安原 3	浅田 2	足立 4
4	2026年7月2日(木) 【講座④】 15:30~17:30	キーワード【3】のプレゼンテーション (10分/人×2名=20分)	浅田 3	岸田 1	伴 3
		キーワード【3】の解説(10分)	浅田 4	岸田 2	
		参加者・講師ディスカッション	安原 4	(司会)	
		総論(受験の意義と秘訣)	安原 5	常田 5	
5	2026年7月3日(金) 【面接】 15:30~17:30	模擬面接 (40分/名×3名)	岸田 3	中山 1 丸山 5	伴 4

★「エルリ塾 Part4」資格取得にも役立つ『旬なキーワード』を学ぶ受講申込用紙★

お申込み年月日：2026年 月 日

LRRRI エルリ塾 安原一哉 塾長 殿

下記に必要事項を記載の上、受講を申込みます。

◆受講者情報（*個人情報の取り扱い本件以外の目的には使用いたしません）

名前		
所属 部署名 役職		
役職		
住所	〒	
電話		
e-mail		

◆受講に当たってのご希望やご意見

[]

*お申込み期限：令和8年 月 日（ ）まで

*ご返送・お問合せ先：staff@lrri.or.jp（LRRRI 事務局）

◆下記からもお申込みいただけます。



令和7年「エルリ塾 Part 4」

講師プロフィール

安原 一哉 (一社)地域国土強靱化研究所(LRRI) 代表理事, 茨城大学 名誉教授



- ・1968年九州大学助手, 1971年西日本工業大学講師, 助教授, 教授。1990年茨城大学教授, 2010年茨城大学名誉教授, 併せて, 2025年から, 同大学大学院非常勤講師。現在, EPS 開発機構会長, (一財)茨城県建設管理センター評議員, 水戸地方裁判所専門委員, (一社)茨城県建設コンサルタント協会技術顧問, 地水開発(株)顧問他。
- ・2010年-2014年 IPCC AR5 Review Editor, 2019年から2022年まで、日越大学(VJU, Hanoi) 客員教授として Climate Change Risk Management を講義した。
- ・専門は, 軟弱地盤工学, 地盤改良・地盤補強, 気候変動対応地盤工学, 工学博士。

【講座①】

【講座④】

常田 賢一 (一財)土木研究センター 顧問, (一社)LRRI 顧問, 大阪大学名誉教授



- ・略歴: 1989年土研/振動研究室長, 1993年北陸地整/金沢工事事務所長, 1995年JACIC研究第2部長, 1996年土研/道路交通総括研究官, 2000年(独法)土研/耐震研究G長, 2004年大阪大学大学院教授, 2017年大阪大学名誉教授, 2017年(一財)土木研究センター理事・理事長。2021年8月~2025年7月、応用地質(株)顧問。現在、国交省道路技術小委員会委員など。
- ・専門: 土質・地盤・土工構造物・防災。興味: 堤防の越流破堤、盛土等の性能評価。
- ・資格: 博士(工学)・技術士(建設部門)。

【講座①】

末次 忠司 (一社) 地域国土強靱化研究所 顧問



- ・略歴: 1982年建設省土木研究所・総合治水研究室、1990年企画課長、1996年都市河川研究室長、2000年河川研究室長、2006年(財)ダム水源地環境整備センター・研究第一部長、2009年土木研究所・水環境研究グループ長、2010年山梨大学大学院・教授、2023年(一社)地域国土強靱化研究所・顧問、静岡地方裁判所専門委員。
- ・専門: 河川防災・減災、リスク対策。
- ・資格: 博士(工学)、技術士(建設部門)。

【講座①】

岸田 隆夫 (一社)地域国土強靱化研究所 副代表理事, メトリー技術研究所(株) 技術顧問



- ・1979年東亜建設工業入社、本社技術研究開発部門を中心に勤務。関西国際空港造成工事・神戸港復興工事や海外工事の現場に従事。技術研究開発センター長、CSR初代推進室長を経験。2012年地盤工学会専務理事に出向。2013年広島工業大学建築工学科教授に転出。2018年メトリー技術研究所に勤務(現職)。現在、(一社)地盤品質判定士会神奈川支部幹事・中国支部顧問、(一社)地域国土強靱化研究所副代表理事。
- ・平面地盤補強D・Box工法の技術担当。地盤工学会・防衛施設学会に所属。宅地の地盤防減災技術に関心。工学博士, 技術士(総合監理・建設), 一級建築士, 地盤品質判定士。

【面接】

丸山 泉 (一社)地域国土強靱化研究所 監事, 前・(株)福山コンサルタント 技師長



【講座③】

- ・1976年株式会社福山コンサルタント入社, 東京支社設計部, 本社事業部勤務。主に構造物耐震設計, 構造解析, 橋梁点検, 補修補強設計, 橋梁長寿命化修繕計画等に従事。大規模業務(本四架橋・来島大橋下部工構造検討etc.)も担当。2009年～2018年株式会社
- ・HMB(ヘルスマonitoringビジネス)代表として無線センサネットワークによる構造物のモニタリングシステムの開発を主導。2014年～2018年株式会社環境防災(徳島市)代表取締役社長。2012年～2023年株式会社福山コンサルタント事業本部技師長。
- ・技術士(総合監理、建設)。

足立 雅樹 みらい建設工業(株) 研究開発部長



【事務局】

- ・1996年みらい建設工業(旧三井不動産建設入社)、兵庫県南部地震港湾復興工事、山岳トンネル工事、軟弱地盤の設計、技術研究開発部門で勤務。国土交通省、財団法人に出向。
- ・現在、液状化対策、維持管理等の研究開発を担当。地盤工学会、土木学会に所属。博士(工学)、地盤品質判定士、一級土木施工管理技士、コンクリート技士、2級FP技能士、3級知的財産管理技能士、乙種第4類危険物取扱者、防災士。週末は、横浜で防災活動、竹林管理、バドミントン、ラグビースクールコーチ(いずれもボランティア)。

伴 夏男 (一社)地域国土強靱化研究所 理事, 常磐地下工業(株) 技術顧問



【事務局】

- ・1982年基礎地盤コンサルタンツ入社, 本社企画部～関東支社(1991年から水戸支店)勤務。主に耐震・軟弱地盤関連の地盤調査・解析業務を中心に従事し, 大規模業務(羽田空港, レインボーブリッジ, みなとみらい21, 都営地下鉄大江戸線 etc.)を担当。1990年のフィリピン地震調査団に参加。2012年から関東支社長として勤務。2018年基礎地盤コンサルタンツ退社, その後中央地盤コンサルタンツを経て、常磐地下工業に入社し現在に至る。
- ・地盤工学会 会員サービス向上委員会委員歴任・関東支部茨城県グループ幹事。関東地質調査業協会 技術委員長・副会長歴任。茨城県地質調査業協会 副会長歴任。技術士(建設)。

助田 勅史 株中央技術コンサルタンツ 北関東支店 技術部 部長



【講座③】

- ・1984年東興建設株式会社(現東興ジオテック)入社,九州支店,東京支店勤務。主にリフォーム工事(鋼板接着),法面工事の施工監理に従事。1993年基礎地盤コンサルタンツ入社,東北支社,関東支社,中部支社勤務。主に法面防災の設計に従事し,災害時は現地駐在して設計を担当した。2021年に定年退職、新日本コンサルタントを経て2023年より現職。
- ・地盤工学会,土木工学会に所属。地すべり防止工事士,砂防・急傾斜管理技術者,地盤品質判定士,コンクリート主任技士・診断士,一級土木・建築施工管理技士,技術士(建設),RCCM。

浅田寛喜

熊本大学特任助教



・熊本大学修士課程修了後、株式会社福山コンサルタントにて環境アセスメント業務やグリーンインフラ業務に従事。退職後、熊本大学に戻り、2025年9月に博士(工学)を取得。同年11月より熊本大学にて特任助教として勤務。専門は応用生態工学。植生管理と土砂災害の関係性の解明など、生態系を活用した防災・減災(Eco-DRR)に関する研究を実施しながら、グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン(GIJ)の事務局長を務めるなど、グリーンインフラの社会実装に向けて活動中。

・応用生態工学会、生態学会に所属。博士(工学)。一般社団法人 RootLoop の理事も務める

【講座④】

以上



一般社団法人 地域国土強靱化研究所

ホームページ <https://lrri.or.jp>

〒311-0105 茨城県那珂市菅谷 4527

お問い合わせ staff@lrri.or.jp